



おにぎり通信

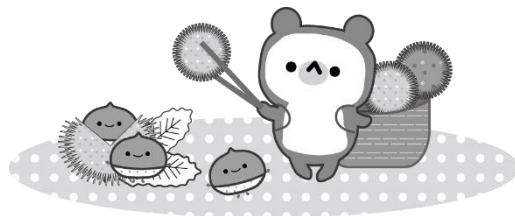
2021年10月16日（土曜） 四ツ谷おにぎり仲間

こんにちは！ 私たちは毎週土曜日に、有楽町・銀座・日比谷公園・茅場町・日本橋・お茶の水・秋葉原・東京駅周辺で生活されている方々を訪問しているボランティアグループです。

今日10月16日は「世界食料デー（World Food Day）」です。

これは、1945（昭和20）年10月16日に国際連合食糧農業機関（FAO）が設立されたことを記念して、1981年に制定されたものです。

なお、国際連合食糧農業機関とは、国連の専門機関の一つで、発展途上国が農業水産林業分野で技術改善を進めることで、発展途上国の一般市民がより栄養価の高い食物を入手するサポートをしています。特に、近年は食糧安全保障を重要課題として掲げ、様々な国際的な調査に基づき、世界各国の農林水産業への勧告などもおこなっています。



福祉行動は引き続きお休みします。ただし福祉事務所へ行くことを希望される方は、おにぎりを持参して伺った際に、お声がけください。お声がけいただいた場合のみ、翌々日の月曜日に、福祉事務所まで同行いたします。

最寄の福祉事務所

中央区福祉事務所・・・中央区築地14-1 中央区役所4階

千代田区福祉事務所・・・千代田区九段南1-2-1 千代田区役所3階

【10月の別名 神無月】

10月の別名は神無月です。元は旧暦10月の別名でしたが、今や新暦10月の別名としても用いられます。今回は神無月の由来についてお話したいと思います。神無月の由来は「神様が年1回出雲で集まりを持っているため、出雲(今の島根県)以外では神様が不在だから神無月と呼ばれる」とよく説明されますが、実はこの説明は中世以降の後付けで、出雲大社の御師が全国に広めた伝承とのことです。

「神無月」の語源はよくわからないのですが、有力な説として、神無月の「無・な」が「の」にあたる連体助詞「な」で「神の月」というだとするものがあります。これは6月の別名である「水無月」が「水の月」であるのと同じです。

その他の説には例えば以下のようなものもあります。

まず、神無月は、醸成月(かみなしづき)、つまり収穫した新米で新酒をつくる月の意味だという説です。神嘗月(かんなめづき)、すなわち新嘗の準備をする月に由来するのではないか、という話もあります。

それから、神無月は諸社に祭りのない月であることに由来するのではないかという説もあります。これに関係するものに、出雲大社の御師が活動しなかった地域である琉球、つまり今の沖縄県においても、旧暦10月には行事や祭りをほとんど行わないため、神のいない月として「飽果十月」と呼ばれることがあります。

また、雷がない月(雷無月、かみなしづき)の意味ではないかとする説や、稲刈りをする月(刈稲月、かりねづき)の変化形ではないかとする説もあります。

おにぎりを包んでいるラップや読み終わった通信は放置せず、ゴミ箱に入れるなど、片付けにご協力をお願いいたします。おにぎりは必ずその日のうちにお召し上がりください。



よ や なかま れんらくさき
四ツ谷おにぎり仲間 連絡先: 080-7795-8535
うけつけじかん まいしゅうどうようびごごじごごじ
(受付時間 毎週土曜日午後3時~午後6時)
ちよだくこうじまち せい きょうかい
千代田区麴町 6-5-1 聖イグナチオ教会